

新製品情報

オートパイロット PR-9000

Debut!

オートパイロットPR-9000は、航海計器の開発に永年の経験と実績を持つ東京計器が、その経験と実績から獲得したノウハウと最新技術を集結させた最新のオートパイロットです。

情報発信力・安全性・信頼性を向上させ、ラインナップも充実しています。

航海の安全、ブリッジの合理化、省エネルギー操船にぜひお役立てください。

レピータユニットにカラー液晶を採用

従来のオートパイロットではカード式のレピータを搭載していましたが、PR-9000シリーズではカラー液晶を採用することによって、表現力を格段に向上させました。レピータユニットでは操船で使用している方位センサのヘディング情報をグラフィック表示するのとあわせ、舵角計や回頭角速度計のグラフィック表示も可能です。またモニター画面では操舵系の監視情報を総合的に表示します。アラートが発生した場合の表現も工夫し、回避操作手順のガイダンスを表示する等、操船者の支援を行います。

ガイダンス表示の例



(アラートメッセージ画面)



(回避操作手順ガイダンス画面)



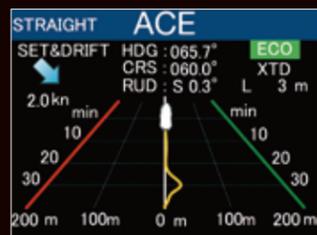
(復帰操作手順ガイダンス画面)

航路制御機能(ACE) オートパイロットのみで航路制御を実現(オプション機能)

PR-9000では電子海図情報表示装置(ECDIS)と接続することなく、直進時の航路制御が可能となりました。オートパイロット(HCS)では、船の船首方位が設定針路に追従するように制御しますので、目的地に到達するまでに、潮流や風浪の影響により船は流されてしまい、航行距離が増加することがありました。

その際、流された船を元の目的地に向けるために、細かな変針を行います。

新しい航路制御機能(ACE)では、現地点から目的地までの方位さえ合わせれば、目的地に向かう航路を自動的に作成し、外乱(潮流)の推定や航路離脱距離を計算して、最適に舵を制御し、航路上を航行することが可能となります。オートパイロットに比べ、「航路離脱の低減」、「航行距離の短縮」「無駄舵の削減」をすることにより安全、省エネルギー航行に貢献します。



お問い合わせ 船用機器システムカンパニー TEL:03-3737-8611